



SIERRAVIDEO

SIERRA VIDEO

Aspen RCP コントロール パネル

モデル : RCP-3232 & 1616

ユーザー マニュアル



SIERRAVIDEO

Aspen RCP コントロール パネル

ユーザーマニュアル

バージョン 4.0

Publication Date: September 2014

このマニュアルに含まれる情報は Sierra Videoにより変更される場合があります

目次

概要	1	通信設定	21
Aspen RCP コントロールパネル	1	パスワードの変更	21
はじめに	1	ソフトウェアアップデート	22
Model RCP-3232	2	工場出荷設定	22
Model RCP-1616	2	接続テスト	23
設置	3	操作	25
はじめに	3	はじめに	25
ラックマウント	3	RCP コントロールパネルの操作	25
寸法	3	ボタンの色	25
周辺機器の接続	4	ルーティングスイッチャーの切り替え	26
AC電源接続	4	V および A ボタン	26
ボタンのラベル付け	5	出力先ベースの切り替え	26
構成	7	ブレイクアウェイスイッチング	26
イーサネットの設定	7	出力先ベースのステータス	27
パスワードの変更	8	ソースベースの切り替え	28
ハードウェアパネル	10	ソースベースのステータス	28
名称	11	ロック	29
ルーティングスイッチャー	12	ボタンのランプテスト	29
概要	12	ページ	30
Advanced	13	Salvo (サルボ)	31
システム情報	13	設定機能	32
ボタン輝度	14	工場出荷のデフォルトに戻す	32
ボタンの設定	15	IP アドレス	32
入力ボタンマッピング	18	IP アドレスのみデフォルトに戻す	34
出力ボタンマッピング	18	ボタン輝度	34
Salvo ボタンマッピング	19	省電力モード	35
レイヤー	20	エラー表示	35
		ルーティングスイッチャーに接続エラー	35
		RCP構成エラー	35
		トラブルシューティング	37
		はじめに	37
		ボタンのランプテスト	37
		フロントパネルのエラー表示	37
		RCP 構成エラー	37
		テクニカルサポート	37
		仕様	39

概要

Aspen RCP コントロールパネル

はじめに

Aspen RCPファミリーのコントロールパネルは、Aspen製品のルーティングスイッチャーにリモートコントロールパネルを素早く簡単に追加します。これらのパネルは、ルーティングスイッチャーを様々な方法で制御するのに十分な信頼性と柔軟性を備えています。これらのパネルは、サルボの有無にかかわらず、ソースごとの完全なXYボタン、宛先ごとの単純な単一出力のボタンとして使用できます。

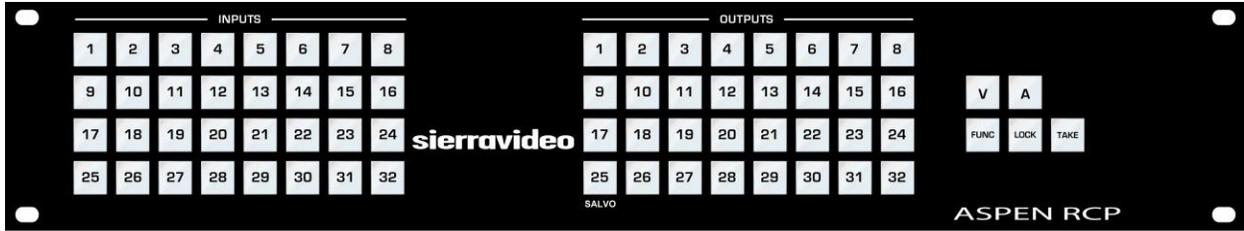
Aspen RCP コントロールパネルは、イーサネット経由でAspenルーターに接続されシンプルなブラウザを使用してセットアップされます。

Aspen RCPパネルをセットアップするためにソフトウェアをインストールする必要はありません。



Model RCP-3232

フロント

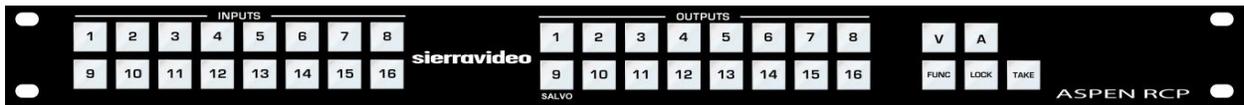


リア



Model RCP-1616

フロント



リア



設置

はじめに

取り付け方法は、このマニュアルの対象となるすべてのパネルで同様です。
例外がある場合は、次の各段落に記載されています。

ラックマウント

フレームを慎重に検査して、輸送による損傷がないことを確認します。
すべての輸送資材がRCPフレームから取り除かれていることを確認してください。
このマニュアルに記載されているコントロールパネルは、フレームの前面端に付いているラック
イヤーで標準の19インチ (RU) EIAラックマウントにマウントできます。
通気のためにユニットの上下にスペースを必要としません。
RCPパネルをラックマウントするには、ユニットのラックイヤーをラックのラックレールに当て、
ラックイヤーの各穴に適切なネジを挿入するだけです。ユニットを電源コンセントに接続する前、
またはケーブルを接続する前に必ずパネルをラックに取り付けてください。

注意!

本機の作動温度範囲は 0 ~ 45 °C です。最高(45 °C)または最低(0 °C)の温度範囲を超えないようご注意ください。
閉鎖型および複数ラックに設置する場合、ラック環境の動作周囲温度は室温より高くなる場合があります。
メーカーの最大定格温度範囲に準拠する環境に機器を設置する配慮が必要です。

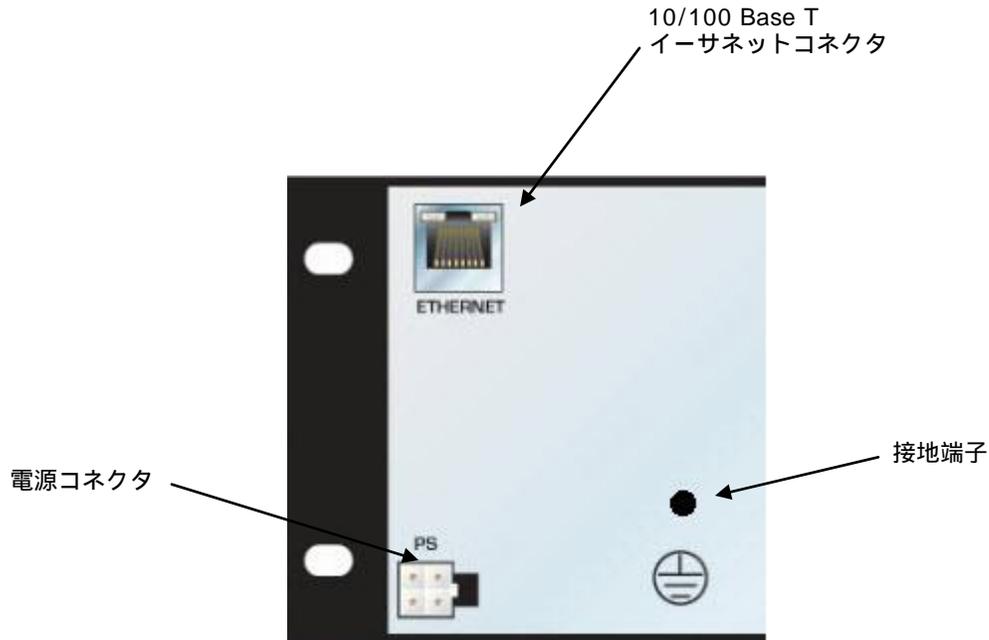
寸法

Aspen RCP-3232 : 高さ 89mm、幅 483mm、奥行 32mm

Aspen RCP-1616 : 高さ 44.5mm、幅 483mm、奥行 32mm

周辺機器の接続

電源、イーサネット、および接地端子はすべてフレームの背面で接続されます。



AC電源接続

Aspen RCPIは外部電源を使用します。
電源は、外部AC/DCコンバーターです。

電源は、ユニバーサル AC入力 100VAC- 240VACです。
電源は自動的に正しい AC入力電圧を検知するため、電圧の選択は不要です。

アースシンボルで指定されているように、16 AWG以上の外部ワイヤーをアースからシステムのシャーシに接続します。

注意!

RCPを修理できるのは、シエラビデオ認定の技術者のみです。
メーカーの明示的な承認なしにユニットを変更または修正したユーザーは、保証を無効にします。

出荷時に同梱されているAC-DC 電源のみを使用して、コントロールパネルに電源を供給してください。

ボタンのラベル付け

ASPEN ルーターまたはコントロールパネルの損傷を防ぐため、フロントパネルのボタンのラベルを変更するときは、次の手順に従ってください：

1. プラスドライバーを使用して、ルーターの上下にある14本の固定ネジを外してフロントパネルを取り外します。
2. 関連するボタンの透明なボタンキャップを指で慎重に取り外します。白いボタンアッセンブリーに過度の圧力をかけないように注意してください。
3. ボタンキャップの下にラベルを挿入します。
4. ボタンキャップをラベル付きのボタンベースに取り付けます。
5. ラベルを変更するすべてのボタンに対してこれを繰り返します。
6. フロントパネルを元に戻して14本のネジをすべて固定します。

設定

イーサネットのセットアップ

デフォルトの IP 設定;

IP アドレス- 192.168.1.250

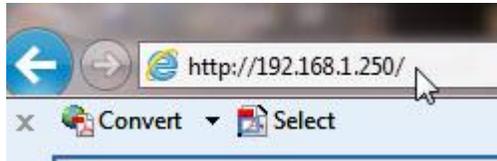
サブネットマスク- 255.255.255.0

ゲートウェイ IP アドレス- 0.0.0.0

Telnet ポート- 10001

IP ポートを設定するには、まずコントロールパネルをPCに接続する必要があります。ケーブルをPCとコントロールパネルに直接接続するか、既存のネットワークに追加することで実行できます。RCPのデフォルトは、ほとんどのシステムの他のデバイスと競合しない192.168.1.250のIPアドレスです。IPアドレスの競合がある場合は、直接接続を使用してコントロールパネルのイーサネットポートを構成する必要があります。IPアドレスは、フロントパネルからも変更できます。(詳細については“操作”の章を参照してください。)

PCとRCPが同じイーサネットワークに接続されたら、インターネットブラウザを開き、インターネットブラウザのアドレス行にRCPのデフォルトアドレスを入力します。

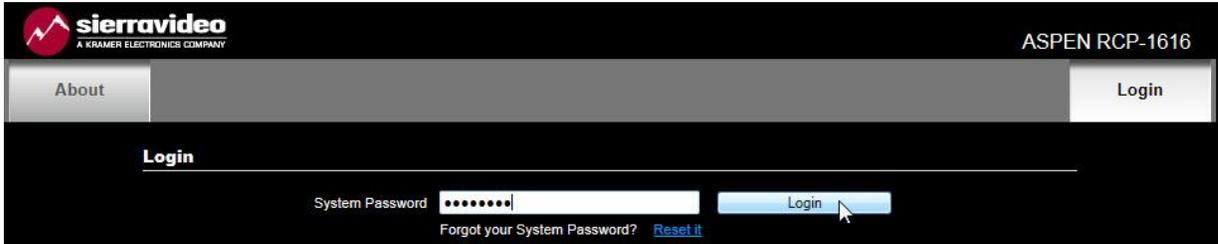


これにより、RCPによって生成されたウェブページが開きます。RCP情報はこのページに表示されます。

Hardware Panel		Routing Switcher	
Model: ASPEN RCP-1616	Name: ASPEN RCP-1616	IP Address: 192.168.1.200	Status: Present
Software Version: 1.03.10	IP Address: 192.168.1.250	Model: ASPEN 1616HD-3G	
	Subnet Mask: 255.255.255.0		

Refresh

ログインしてパラメーターを設定または変更する必要があります。ログインするには、ログインボタンを選択します



パスワードを入力し、“ログイン”を選択します。

注意:

工場出荷時のデフォルトのパスワードは“password”です。

パスワードの変更

パスワードを変更する、またはパスワードを忘れた場合は、ログイン画面から“リセット”を選択します。

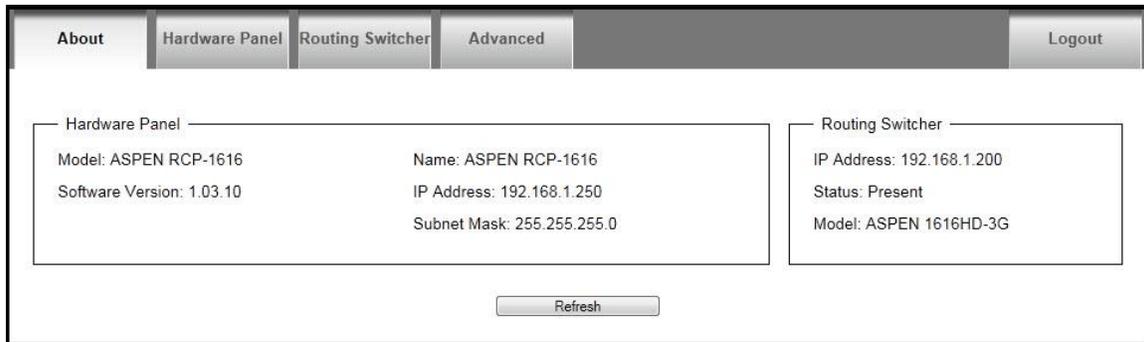


新しいパスワード、ユニットのシリアル番号を入力し、“保存”を押します。



パスワードは、“Advanced” タブからも変更できます (シリアル番号を入力せずに)。

ログインに成功すると、次のように追加のタブが表示されます。



“refresh” ボタンは、RCPの現在の設定を再読み込みします。

ハードウェアパネル

RCP に名前を付けるか、ネットワーク通信 (例. IP アドレス等) を変更するには、“Hardware Panel” タブを選択します。

sierravideo
A KRAMER ELECTRONICS COMPANY

ASPEN RCP-1616

About Hardware Panel Routing Switcher Advanced Logout

Name: ASPEN RCP-1616

Panel Network Settings

MAC address: 00-10-7F-12-0F-DD

Mode: Obtain IP address automatically (DHCP)
 Use the following IP address

IP Address: 192.168.1.250
 Subnet Mask: 255.255.255.0
 Default Gateway: 0.0.0.0

Allow Network Settings to be changed from the front panel

Refresh Save

フロントパネルには、ネットワークアドレスを変更する機能があります。この機能を無効にしたい場合は、“Allow Network Settings to be changed from the front panel”(フロントパネルからのネットワーク設定の変更を許可する)ボックスのチェックを外します。

“refresh” ボタンは、RCPの現在の設定を再読み込みします。

必要な変更を行い、“Save” を押して変更を実装します。

注意:

このウィンドウのパラメーターを変更すると、ブラウザーがRCPと通信できなくなります。通信を再確立するには、ブラウザーに新しいIPアドレスを入力する必要があります。変更を有効にするためにRCPをリセットする必要はありません。

名称

RCPには、必要に応じて名前を割り当てることができます。例: Edit A, Production.....
RCP の名前を変更するには、ボックスにカーソルを置き新しい名前を入力します。

The screenshot shows the web interface for the ASPEN RCP-1616. At the top left is the SierraVideo logo (A KRAMER ELECTRONICS COMPANY). At the top right is the text 'ASPEN RCP-1616'. Below this is a navigation bar with tabs: 'About', 'Hardware Panel', 'Routing Switcher', 'Advanced', and 'Logout'. The 'Name' field is highlighted with a mouse cursor. A 'Panel Network Settings' dialog box is open, showing the following information:

- MAC address: 00-10-7F-12-0F-DD
- Mode:
 - Obtain IP address automatically (DHCP)
 - Use the following IP address
- IP Address: 192.168.1.250
- Subnet Mask: 255.255.255.0
- Default Gateway: 0.0.0.0
- Allow Network Settings to be changed from the front panel

At the bottom of the dialog box are 'Refresh' and 'Save' buttons.

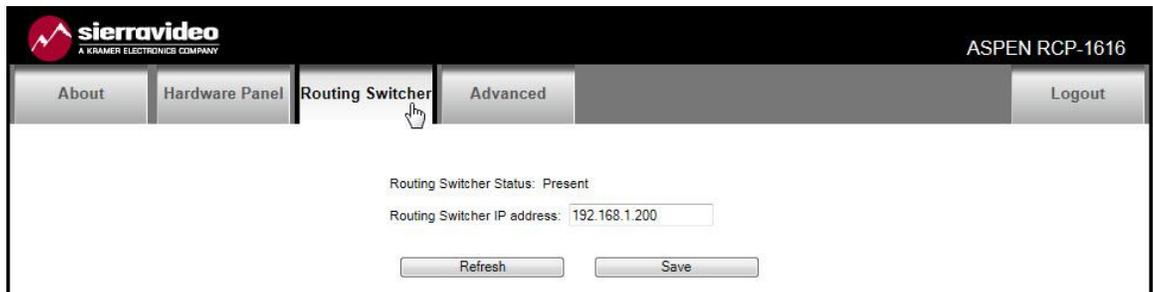
必要な変更を行い、“Save” を押して変更を実行します。

ルーティングスイッチャー

概要

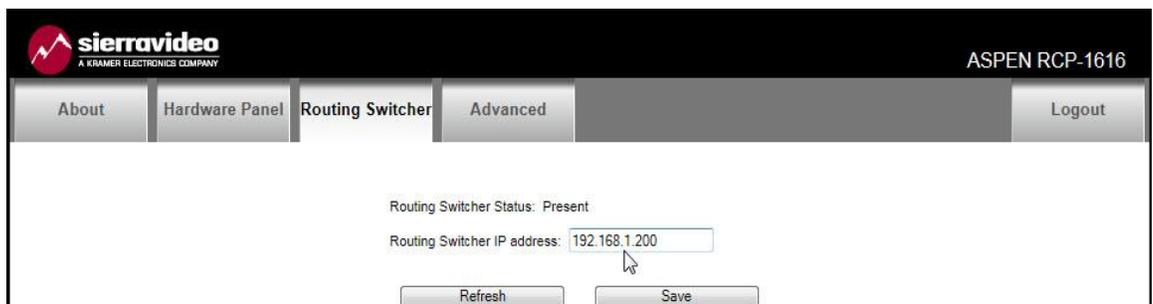
IPアドレスが異なる場合は、ネットワーク上に複数のルーティングスイッチャーやRCPパネルを同時に配置できます。

“Routing Switcher” タブを選択し、制御するルーティングスイッチャーのIPアドレスを入力します。



The screenshot shows the Sierra Video web interface for the ASPEN RCP-1616. The top navigation bar includes the Sierra Video logo, the text "A KRAMER ELECTRONICS COMPANY", and the device name "ASPEN RCP-1616". Below the navigation bar are tabs for "About", "Hardware Panel", "Routing Switcher", "Advanced", and "Logout". The "Routing Switcher" tab is selected. The main content area displays "Routing Switcher Status: Present" and "Routing Switcher IP address: 192.168.1.200". Below the IP address field are "Refresh" and "Save" buttons.

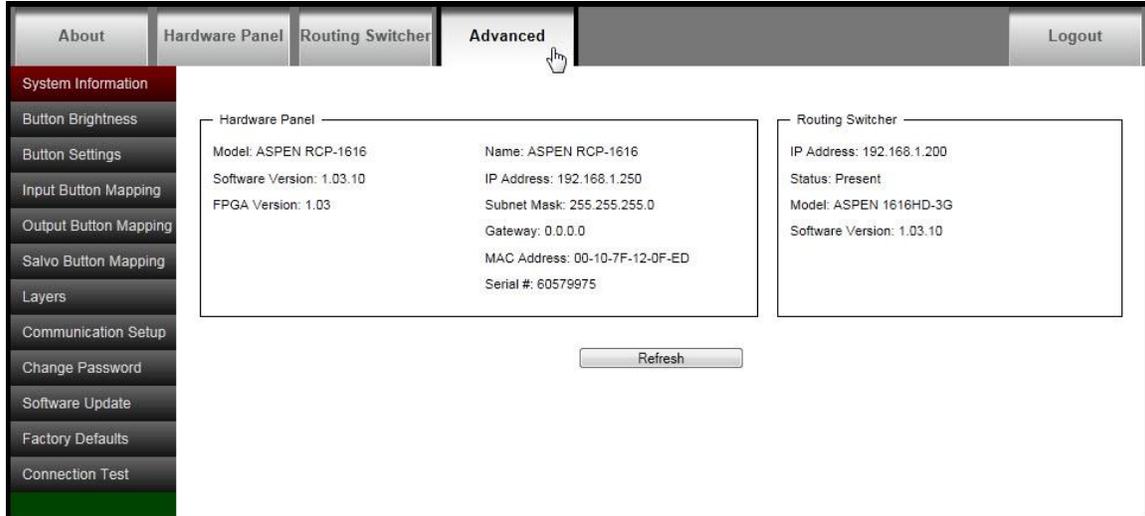
ボックスにカーソルを置き、制御するルーティングスイッチャーのIPアドレスを入力します。



This screenshot is identical to the one above, but the mouse cursor is positioned over the "Routing Switcher IP address" input field, which contains the value "192.168.1.200".

アドバンスド

“Advanced” タブでは、ボタンの明るさ、パスワードの変更、ソフトウェアの更新等の “engineering” 設定にアクセスできます。



画面の左側にあるバーをクリックすると、調整とステータスにアクセスできます。

システム情報

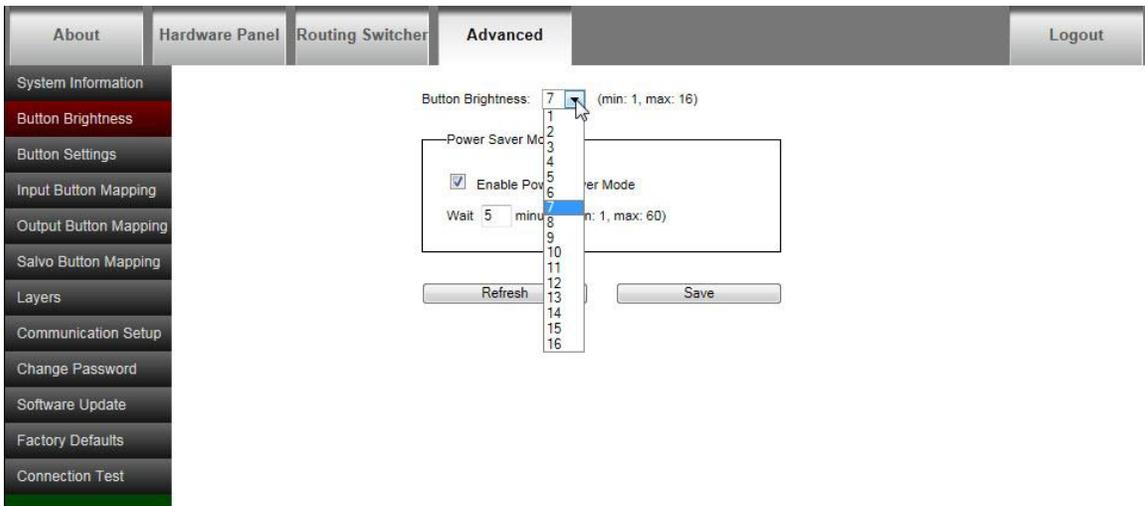
“システム インフォメーション” タブには、システムの状態と現在の構成設定の概要が表示されます。

ボタンの明るさ

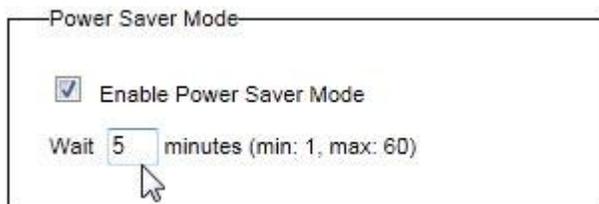
“ボタンの明るさ” タブでは、コントロールパネルのボタンの明るさを設定します。



ボタンの明るさ- ボタンの明るさは16の異なるレベルに設定できます。

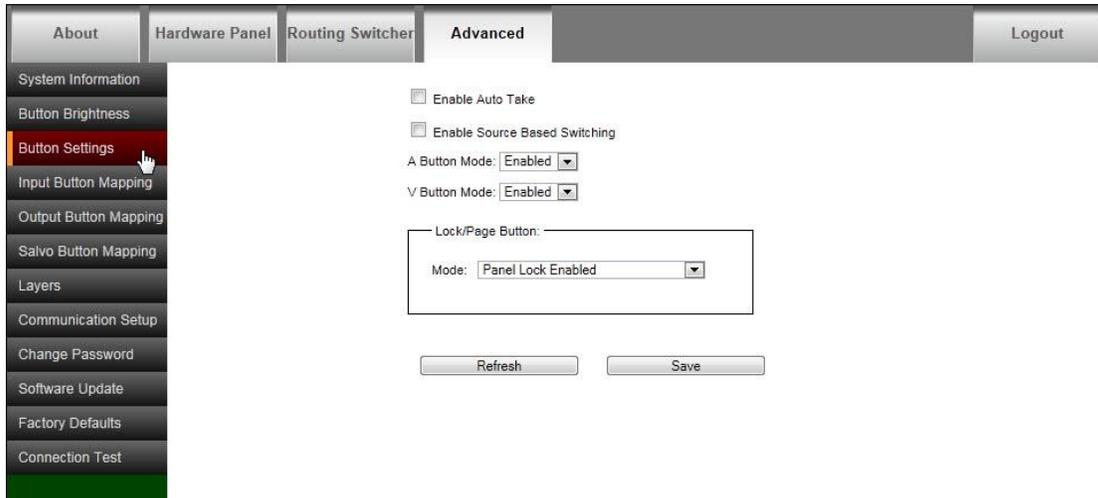


省電力モード- 省電力モードが有効になっている場合、ボタンは指定された待機時間に設定照度の25%に暗くなります。

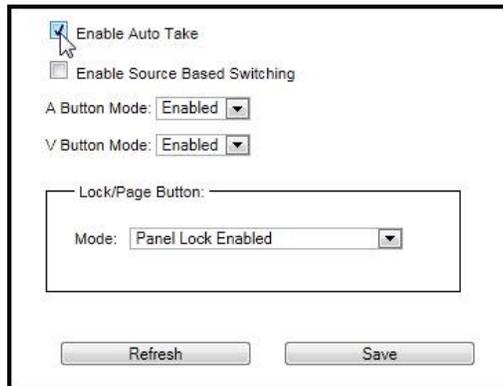


ボタンの設定

“ボタン設定” タブは、フロントコントロールパネルボタンのロックおよび“テイク”モードパラメーターを設定します。

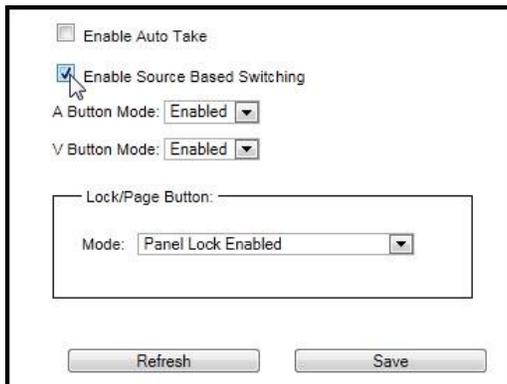


コントロールパネルは、“オートテイク”モードに設定できます。“オートテイク”モードでは、あて先とソースが選択されるとすぐにルーティングスイッチャーが切り替わります (または“ソースベーススイッチングを有効にする”が選択されている場合はソースとあて先が選択されます。(下記参照)



送信元ベースのスイッチングでは、最初に送信元を選択してから1つまたは複数のあて先を選択できます。

工場出荷時のデフォルト設定は、あて先が最初に選択され、次にソースが選択されるあて先ベースの切り替えです。(チェックボックスはオフ)



ロック/ページ ボタン- フロントパネルの“ロック” ボタンは、パネル操作を無効にすることができます。このボタンには2つの操作モードがあります；

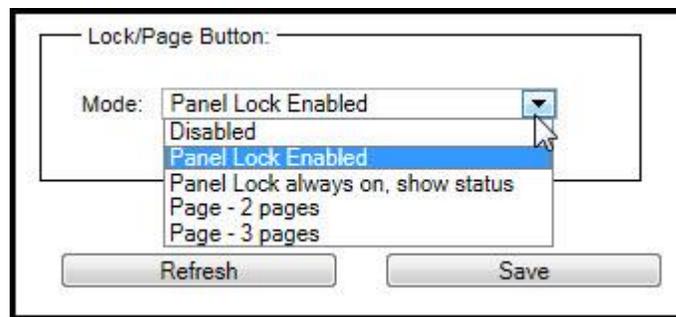
1. パネルをロックできます。ロックボタンが有効になっています。押すとオン/オフになります。オンの場合、ボタンは赤色になります。これがデフォルトの動作モードです。
2. パネルは常にロックされ、状態を表示します。ロックボタンは無効で、常にオンです。ボタンは紫色になります。

パネルがロックされている間:

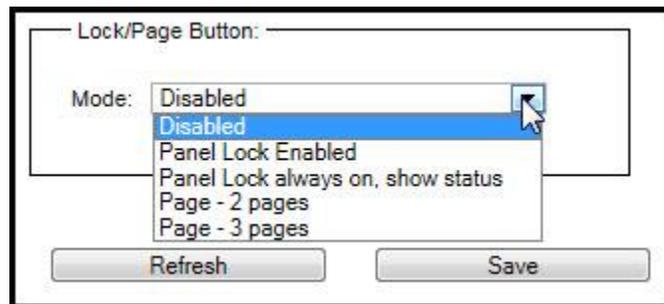
つぎのボタンはオフになり、無効になります。

(押しても何も起こりません):

- FUNC ボタン (工場出荷時のデフォルトの例外を参照してください)
- A ボタン
- V ボタン
- TAKE ボタン



フロントパネルの“ロック” ボタンを使用して、操作の“ページ”を変更することもできます。



このモードでは、このボタン 2 または 3 ページ (ウェブページで設定可能) の入力と出力を順番に切り替えます。ボタンはページごとに異なる色になります。各ページの色もウェブページから設定できます。

デフォルトでは、このボタンは常に1ページから始まります。

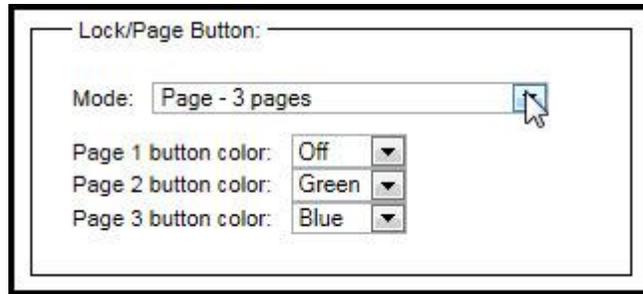
パネルが2ページにプログラムされている場合:

1. ボタンを1回押すと2ページに移動します。
2. ボタンをもう一度押すと1ページに戻ります。

パネルが3ページにプログラムされている場合:

1. ボタンを1回押すと2ページに移動します。
2. ボタンをもう一度押すと3ページに移動します。
3. ボタンをさらにもう一度押すと1ページに戻ります。

“ページ”を選択すると、ウィンドウが変わりボタンの色を変更して、どのページにいるかを示すことができます。



“refresh” ボタンは、ルーティングスイッチャーの現在の設定を再読み込みします。

必要な変更を行い、“Save” を押して変更を実装します。これらの変更を有効にするには、ルーターをリセットする必要があります。

入力ボタンのマッピング

パネルボタンは、ルーターで制御されるさまざまなソース、あて先(コネクター)およびさまざまsalvo番号に割り当てることができます。“0” 葉ボタンが無効であることを示します。

Input Button Number	Page 1 Source Number
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16

Refresh Save

出力ボタンのマッピング

Output Button Number	Page 1 Destination Number
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16

Refresh Save

Salvo ボタンのマッピング

Button Number	Salvo Number
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16

Aspen RCP-1616 デフォルト:

ソース番号 1 ~ 16 にそれぞれマッピングされた入力ボタン 1 ~ 16
 あて先番号 1 ~ 16 にそれぞれマッピングされた出力ボタン 1 ~ 16
 Salvo ボタン 1 ~ 16 は、それぞれ salvo 番号 1 ~ 16 にマッピングされます

Aspen RCP-3232 デフォルト:

ソース番号 1 ~ 32 にそれぞれマッピングされた入力ボタン 1 ~ 32
 あて先番号 1 ~ 32 にそれぞれマッピングされた出力ボタン 1 ~ 32
 Salvo ボタン 1 ~ 16 は、それぞれ salvo 番号 1 ~ 16 にマッピングされます
 マッピングされた Salvo ボタン 17 ~ 32 はすべて 0 に設定されます

注意:

番号は一意でなければなりません:

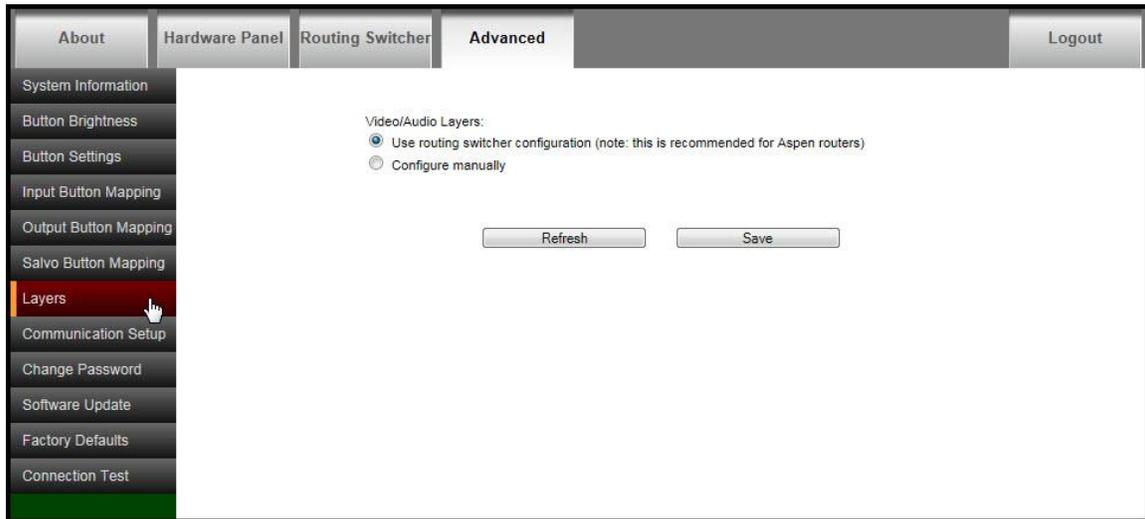
- 各ソース番号 (0を除く) は、1つの入力ボタンにのみマッピングできます。
- 各あて先番号 (0を除く) は、1つの出力ボタンにのみマッピングできます。
- 各salvo番号 (0を除く) は、1つの入力ボタンにのみマッピングできます。
- 保存ボタンがクリックされるまで、ソフトウェアは重複をチェックしません。
この時点で重複がある場合、エラーが表示されます。

レイヤー

この画面で特定のレイヤーを制御するようにパネルを構成できます。

“ルーティングスイッチャー構成を使用する”設定がデフォルトであり、Aspenルーティングスイッチャーで使用することを強くお勧めします。

警告: この設定を変更する前にKramer製品取扱店にお問い合わせください。



通信設定

この画面でRCP通信を変更できます。

設定“UDP”はデフォルトであり、Aspenルーティングスイッチャーで使用することを強くお勧めします。

警告: この設定を変更する前にKramer製品取扱店にお問い合わせください。

“パネル状態更新ポーリングレート”の設定は、RCPが他のパネルで発生したクロスポイントの変更を表示する速度を制御します。この数値を低く設定すると、更新が早くなりますがイーサネットネットワークのトラフィックも増加します。

The screenshot shows the 'Communication Setup' page. The left sidebar has 'Communication Setup' selected. The main content area includes:

- Connect to routing switcher using:
 - UDP (note: this is recommended for Aspen routers)
 - TCP
- Panel status update polling rate (1 to 120 seconds):
- Buttons: Refresh, Save

変更が行われた場合、保存をクリックします：

成功すると、“リセットが必要、今すぐリセット”ウィンドウが表示されます。

成功しなかった場合、エラーが表示されます。

パスワード変更

この画面では、パネルのウェブページのログインパスワードを変更できます。

工場出荷時のデフォルトは、“password”です。

The screenshot shows the 'Change Password' page. The left sidebar has 'Change Password' selected. The main content area includes:

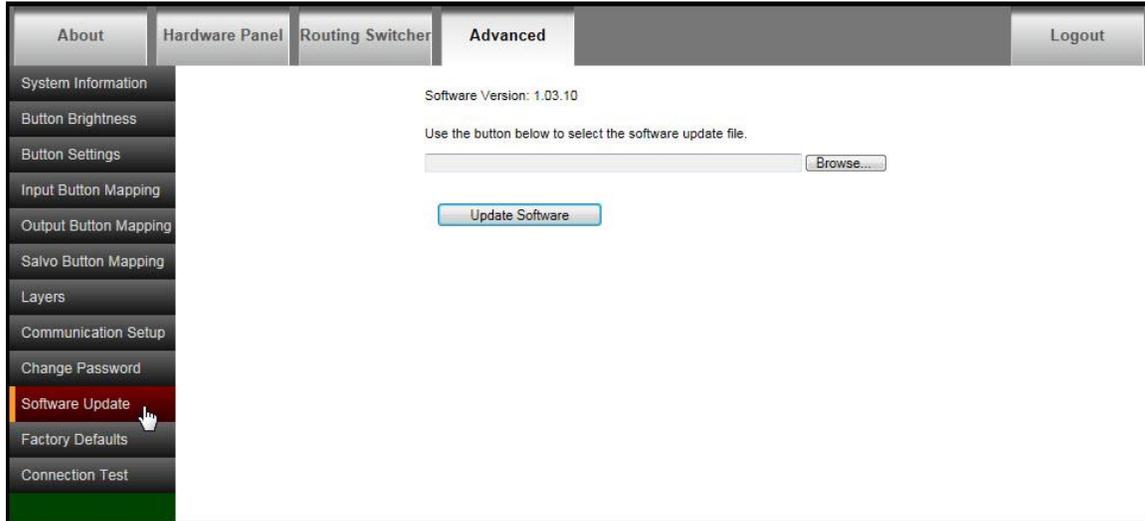
- Existing System Password:
- New System Password:
- Repeat New System Password:
- Buttons: Cancel, Save

ソフトウェア更新

Kramerからソフトウェアのアップグレードを入手できる場合があります。利用可能なダウンロードについては、当社のウェブサイトを確認するか工場にお問い合わせください。

ソフトウェア更新ファイルをコンピューターに配置し、参照を選択してファイルを見つけます。

“ソフトウェアの更新” を押すと進行状況が表示されます。

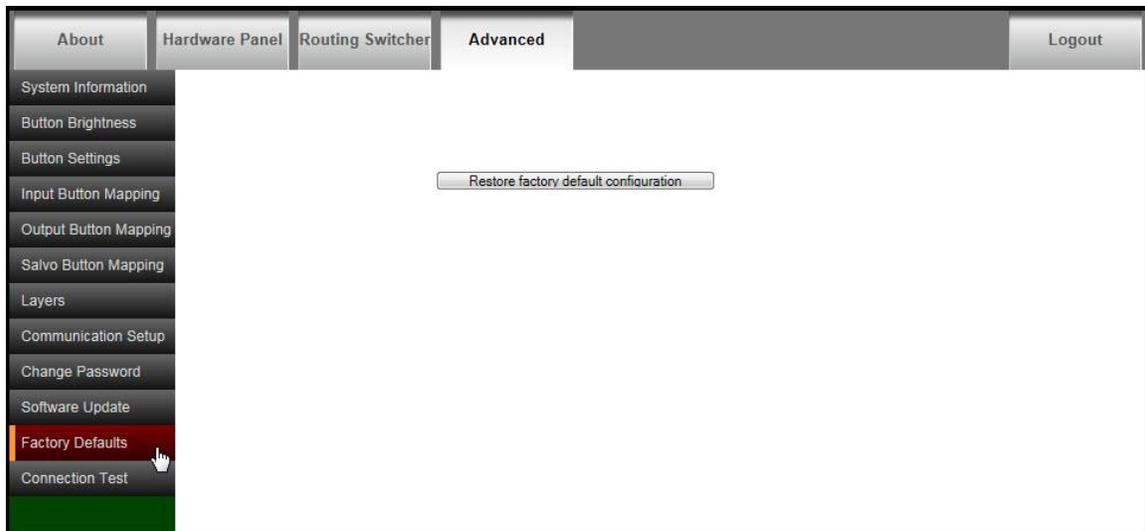


注意:

RCP がリセットされ、更新が完了します。

工場出荷時のデフォルト

この画面では、RCP を工場出荷時のデフォルト設定にリセットできます。IPアドレスを含むすべてのパラメーターがリセットされます。

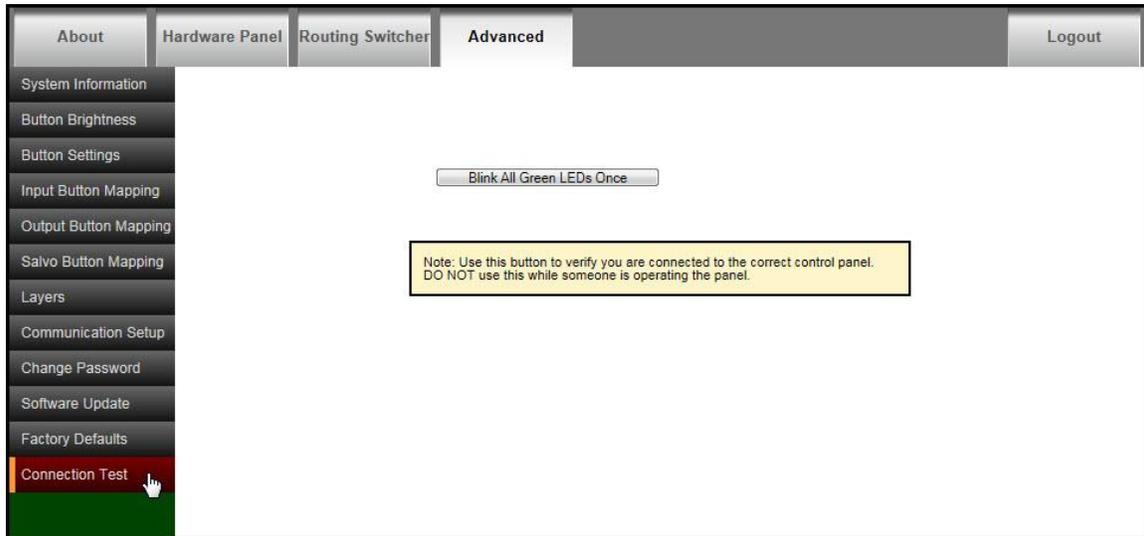


注意!

工場出荷時のデフォルトに戻すと、行った設定変更はすべて失われます。

接続テスト

この画面で正しいパネルへの接続をテストできます。



注意!

このボタンを使用して、正しいコントロールパネルに接続されていることを確認します。
誰かがパネルを操作している間は使用しないでください。

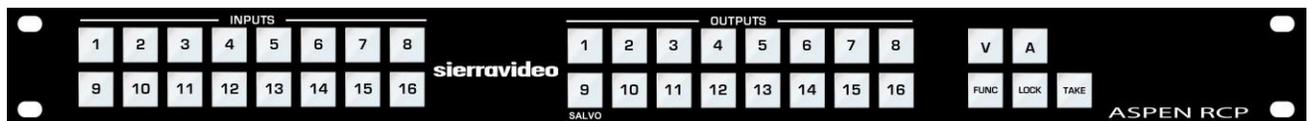
操作

はじめに

RCP の目的は、入力 (ソース) を出力 (出力先) に切り替えることです。
任意の入力を任意またはすべての出力に接続できますが、各出力は単一の入力にのみ接続
できます。

RCP コントロールパネルの操作

RCP コントロールパネルは、16 入力、16 出力 (RCP-3232モデルでは、32 入力、32 出力)、
“V” (ビデオのみ) ボタン、“A” (オーディオのみ) ボタン、機能、ロック、テイクボタン。これらの機能を
使用して、ビデオや外部オーディオを切り替えて出力と入力を選択し、特別な機能にアクセスします。



ボタンの色

- 有効にすると、テイクボタンが赤く点滅します。それ以外の場合、オフになります。
- 基本操作では、FUNC ボタンは黄色になります。
- ロックモードでは、パネルがロックされるとロックボタンは赤色または紫色になります。
そうでない場合はオフになります。
- PAGE モードでは、ロックボタンは表示されているページの色になります。
(詳細については、ボタン設定を参照してください)
- V (ビデオレベル) ボタンを選択すると緑色になります。
そうでない場合はオフになります。
- A (オーディオレベル) ボタンを選択すると青色になります。
そうでない場合はオフになります。

ルーティングスイッチャーの切り替え

V および A ボタン

V (ビデオ) ボタンを使用すると、ビデオを切り替えることができます。
A (オーディオ) ボタンを使用するとオーディオを切り替えることができます。

少なくとも1つのオーディオが設定された通常の動作:

- V ボタンはデフォルトでオンになります。
A ボタンはデフォルトでオンになります。
- V ボタンとA ボタンを押すとオン/オフが切り替わります。

オーディオレベルが設定されていない通常の操作では:

- V ボタンはオンのままで、ボタンの選択には応答しません。
- A ボタンはオフのままで、ボタンの選択には応答しません。

出力先ベースの切り替え

1. 出力を選択します
2. 「A」ボタンと「V」ボタンを切り替えて、有効な切り替えを選択します。 上を参照
3. 入力を選択します (オートテイクモードでは、切り替えはすぐに行われます)
4. オートテイクモードが有効になっていない場合、「テイク」ボタンが赤く点滅します - テイクを押して切り替えを開始します

ブレイクアウェイ 切り替え

オーディオレイヤーを設定すると、ビデオのみ、オーディオのみ、またはその両方を切り替えることができます。これを行うには、目的のレベルタイプのみが点灯するようにVボタンとAボタンを切り替えます。

例 (オートテイクが無効になっている場合):

1. 出力 2 を押します
2. 接続されている入力点が点灯します。オーディオとビデオの両方が入力5に接続されている場合、シアンになります。
3. 入力 6 を押します。シアンが点滅し、テイクボタンが赤く点滅します。
4. オーディオのみをソース 6 に切り替えるには、V ボタンをオフにします。入力 6 が青色に点滅します。
5. テイクボタンを押します。
6. 入力 6 は青一色になり、入力 5 は緑一色になります。

注意: V ボタンと A ボタンは、プリセットを選択する前に変更することもできます。

出力先ベースの状態

出力が選択されると、その出力に現在接続されている入力点が点灯します。ビデオとオーディオ (利用可能な場合) が同じソースからルーティングされると、そのソースボタンランプのみが点灯します。

選択された出力ボタンは緑色になります。

入力ボタンの色:

ビデオとオーディオを示すシアン

ビデオのみを示す緑色

オーディオのみを示す青色

クロスポイントスイッチングがローカルプッシュボタンインターフェイス以外の制御点から開始され、現在選択されている出力先が関係している場合、ソースボタンのタリールは自動的に更新されます。

ソースベースの切り替え

1. 入力を選択します
2. “A” ボタンと“V” ボタンを切り替えて、切り替えるレベルを有効にする
3. 出力を選択します (オートテイクモードでは、切り替えはすぐに行われます)
4. オートテイクモードが有効になっていない場合、“テイク” ボタンが赤く点滅し、テイクを押してスイッチを起動します。または、選択した同じソースへの複数の出力のプリセットテイクに追加の出力を選択できます。後者の場合、テイクを押すと選択したすべての出力が選択したソースに切り替わります。
5. 出力が点滅している場合、再度選択すると出力がオフになります。

ブレイクアウェイを行うには、出力先ベースの切り替えセクションを参照してください。

ソースベースの状態

入力を選択されると、その入力に現在接続されている出力が点灯します。

選択された入力ボタンは緑色になります。

出力ボタンの色:

ビデオとオーディオを示すシアン

ビデオのみを示す緑色

オーディオのみを示す青色

ロック

ロックボタンには2つの動作モードがあります。モードはウェブページから設定できます。

1. パネルをロックできます。ロックボタンが有効になります。押すとオン/オフになります。オンの場合、ボタンは赤色になります。これがデフォルトの動作モードです。
2. パネルは常にロックされ、状態を表示します。ロックボタンは無効になっており、常にオンになっています。ボタンは紫色になります。

出力先ベースモードでは、パネルがロックされている場合(上記参照)、ユーザーは任意の出力ボタンを選択できます。この出力に接続された現在の入力、入力ボタンを点灯することによって状態を示します。

パネルがロックされている間:

- 入力ボタンは無効になります。(押しても何も起こりません):
- 以下のボタンはオフになり、無効になります(押しても何も起こりません):
- FUNC ボタン
- A ボタン
- V ボタン
- TAKE ボタン

ソーススペースモードでは、パネルがロックされている場合(上記参照)、ユーザーは引き続き任意の入力ボタンを選択できます。この入力に接続された現在の出力は、出力ボタンを点灯することにより状態が決まります。

パネルがロックされている間:

- 出力ボタンは無効になります(押しても何も起こりません):
- 以下のボタンはオフになり、無効になります。(押しても何も起こりません):
- FUNC ボタン
- A ボタン
- V ボタン
- TAKE ボタン

ボタンランブテスト

- 1) 電源投入時に、すべての緑色のLEDが点灯するまで入力ボタン 1 を押し続けます。
- 2) 入力ボタン 1 の場合、ボタンを押すと次のシーケンスが実行されます。
 - a. すべての青色 LEDがオン
 - b. すべての赤色 LEDがオン
 - c. すべての LEDがオフ
 - d. 入力ボタン 1 の緑色 LEDがオン
 - e. 入力ボタン 1 の青色 LEDがオン
 - f. 入力ボタン 1 の赤色 LEDがオン
 - g. 入力ボタン 1 がオフ
 - h. すべての緑色 LEDがオン
 - i. 手順 aに戻る
- 3) 他のすべてのボタンの場合、ボタンを押すたびにそのボタンでサポートされている各LEDが順番に切り替わります。ボタンを押し続けると、シーケンスが繰り返されます。例えば: 入力ボタン 2 がオフの場合、それを押すと次のシーケンスが実行されます。
 - a. 緑色
 - b. 青色
 - c. 赤色
 - d. 消灯
 - e. 手順 aに戻る

- 4) テストモードを終了するには、ユニットの電源を切って再度入れます。

ページ

「ロック」ボタンが「ページ」モードに設定されている場合(インストールセクションを参照)、このボタンは2ページまたは3ページ(Webページで設定可能)の入力と出力を順番に表示します。ボタンの色はページごとに異なります。各ページの色もWebページから設定できます。

デフォルトでは、このボタンは常に1ページから始まります。

パネルが2ページにプログラムされている場合:

- ボタンを1回押すと2ページに移動します:
- ボタンをもう一度押すと1ページに戻ります

パネルが3ページにプログラムされている場合:

- ボタンを1回押すと2ページに戻ります
- ボタンを再度押すと3ページに移動します
- さらにもう一度ボタンを押すと1ページに戻ります

“ページ”を選択すると、ウィンドウが変わりボタンの色を変更してどのページにいるかを示すことができます。

サルボ

サルボはウェブページを介してプログラムされます (サルボ設定セクション参照)

サルボを実行するには;

- FUNC ボタンを選択します。ボタンが黄色に変わります。
- SALVO ボタンを選択します。ボタンは青色に点灯します。
- 入力セクションのボタン1 ~ 16 (RCP-3232では1 ~ 32) が青色に点灯し、選択可能なレジスターを示します。
サルボレジスターとして保存されているボタンのみが点灯します。
- 点灯しているボタンの何れかを選択します。選択したボタンがシアンで点滅します。
- TAKEボタンが赤色に点滅し始めます。
- TAKE を選択します
 - サルボが実行されます
 - FUNC ボタンが消灯します
 - フロントパネルは通常の動作モードに戻ります。

注意:

Aspen RCP-3232 では、サルボボタンは出力ボタン 25 です。
Aspen RCP-1616 では、サルボボタンは出力ボタン 9 です。

機能の設定

工場出荷のデフォルトに戻す

RCP を工場出荷時のデフォルト状態にリセットするには、同時にボタンを押してリセットするコマンドを実行する必要があります。

- FUNC ボタンを押しながら、FUNC ボタンが青色に変わるまで押し続けます。
- 入力ボタン 1 と 2 を押し続けます。
 - 入力ボタン 1 と 2 は青色になります。注意: これらのボタンは、両方が保持されるまで点灯しません。何れかのボタンを放すと、両方がオフになります。
 - TAKE ボタンが赤色に点滅します。
- FUNC ボタンと入力ボタン 1 および 2 を押し続けながら、TAKE ボタンを押して実行します。RCP は工場出荷時のデフォルトにリセットされます。

注意!

工場出荷時のデフォルトに戻すと、RCP の設定変更はすべて失われます。

TAKE ボタンを押した後、入力 1 ボタンを長押しすると、フロントパネルが「ボタンランプテスト」モードになる場合があります。これが発生すると、すべてのLEDが緑色に点灯します。このモードを終了するには、電源を一度落とし、RCP の電源を入れなおす必要があります。

注意:

FUNC ボタンを放すと、設定モードが終了し、パネルが以前の状態に戻ります。

IP アドレス

IP アドレスは、フロントパネルに表示またはフロントパネルから変更できます。

IP アドレスを表示するには;

- FUNC ボタンを青色に変わるまで押し続けます。FUNC ボタンを離して終了します。
- アスペン RCP-3232 の出力ボタン 26 または RCP-1616 の出力ボタン 10 を押します。ボタンは青色に変わります。
 - IPアドレスをフロントパネルから変更できる場合、出力ボタン 1 ~ 4 は緑色に変わります。それ以外の場合、これらのボタンは青色になります。
- 出力ボタン1を押します。ボタンが点滅します。
 - 3つの入力ボタン 1 ~ 10 (0の場合) が短時間オンになり、IPアドレスの最初のオクテットが表示されます。
- 出力ボタン2を押します。ボタンが点滅します
 - 3つの出力ボタン 1 ~ 10 (0の場合) が短時間オンになり、IPアドレスの2番目のオクテットが表示されます。
- 出力ボタン3を押します。ボタンが点滅します。
 - 3つの入力ボタン 1 ~ 10 (0の場合) が短時間オンになり、IPアドレスの3番目のオクテットが表示されます。
- 出力ボタン4を押します。ボタンが点滅します。
 - 3つの入力ボタン 1 ~ 10 (0の場合) が短時間オンになり、IPアドレスの4番目のオクテットが表示されます。
- FUNC ボタンを放して終了します。

例えば、IPアドレスが 192.168.1.200 の場合

- FUNC ボタンを青色になるまで押し続けます。
- アспен RCP-3232 の出力ボタン 26 または出力ボタン 10 を押します。RCP-1616. このボタンは青色に変わります。
- 出力ボタン 1 を押します。
 - 入力 1 が短時間オンになります。
 - 入力 9 が短時間オンになります。
 - 入力 2 が短時間オンになります。
- 出力ボタン 2 を押します。
 - 入力 1 が短時間オンになります。
 - 入力 6 が短時間オンになります。
 - 入力 8 が短時間オンになります。
- 出力ボタン 3 を押します。
 - 入力 10 が短時間オンになります。
 - 入力 10 が再び短時間オンになります。
 - 入力 1 が短時間オンになります。
- 出力ボタン 4 を押します。
 - 入力 2 が短時間オンになります。
 - 入力 10 が短時間オンになります。
 - 入力 10 が再び短時間オンになります。

IP アドレスを変更するには;

オペレーターがフロントパネルで IP アドレスを変更できる場合にのみ機能します。
(マニュアルの構成セクションの“ネットワーク”を参照)

- FUNC ボタンを青色に変わるまで押し続けます。
- アспенRCP-3232 の出力ボタン 26 または RCP-1616 の出力ボタン 10 を押します。ボタンは青色に変わります。
 - IPアドレスをフロントパネルから変更できる場合、出力ボタン1 ~ 4 は緑色に変わります。それ以外の場合、これらのボタンは青色になります。
- 出力ボタン 1 を押します。ボタンが点滅します。
 - 3つの入力ボタン 1 ~ 10 (0の場合) が短時間オンになり、IPアドレスの最初のオクテットが表示されます
 - 入力ボタン 1 ~ 10 (0の場合) の 3 を押して、IP アドレスのオクテットのIP アドレスを設定します。テイクボタンが点滅します。
 - 先行ゼロが必要なことに注意してください。
 - 入力ボタンは、押されている間は緑色になります。
 - テイクを押してIP アドレスを変更します。
- 出力ボタン 2 を押します。
IP アドレスの2番目のオクテットについて上記の手順を繰り返します。
- 出力ボタン 3 を押します。
IP アドレスの3番目のオクテットについて上記の手順を繰り返します。
- 出力ボタン 4 を押します。
IP アドレスの4番目のオクテットについて上記の手順を繰り返します。
- FUNC ボタンを放して終了します。

例えば、IP アドレスを 192.168.1.251 に設定するには:

- FUNC ボタンを青色に変わるまで押し続けます。
- Aspen RCP-3232 の出力ボタン 26 またはRCP-1616 の出力ボタン 10 を押します。ボタンは青色に変わります。
- 出力ボタン 1 を押します。現在のオクテットが表示されたら、
 - 入力 1 を押します
 - 入力 9 を押します
 - 入力 2 を押します。テイクボタンが点滅します。
- 出力ボタン 2 を押します。
 - 入力 1 を押します
 - 入力 6 を押します
 - 入力 8 を押します。テイクボタンが点滅します。
- 出力ボタン 3 を押します。
 - 入力 10 を押します
 - 入力 10 を再度押します
 - 入力 1 を押します。テイクボタンが点滅します。
- 出力ボタン 4 を押します。
 - 入力 2 を押します
 - 入力 5 を押します
 - 入力 1 を押します。テイクボタンが点滅します。

IP アドレスのみを工場出荷時のデフォルトにリセットします

他の設定や条件を変更せずにRCPのIPアドレス、サブネット、ゲートウェイをリセットするには:

- FUNC ボタンを青色になるまで押し続けます。
FUNCボタンを押しながら;
- アспен RCP-3232 の入力ボタン 25 またはRCP-1616 の入力ボタン 9 を押し続けます。
 - 入力ボタンが青色に変わります。
 - テイクボタンが赤色に点滅します。
- FUNC ボタンと入力ボタンを押したままテイクボタンを押して実行します。
RCP は工場出荷時のIPデフォルトにリセットされます。

ボタンの明るさ

フロントパネルのボタンの明るさを設定するには;

- FUNC ボタンを青に変わるまで押し続けます。
- FUNC ボタンを押しながらサルボボタンを押して放します。
- 出力ボタン 1～8 は緑色に変わります。
- 入力ボタン1～16のいずれかが緑色になり、現在の輝度設定が示されます。
- 入力ボタン1～16を押して、輝度設定を選択します。
出力ボタン1～8は、輝度設定が示すように変わります。

省エネモード

- FUNC が青色になるまで押し続けます。
- FUNC ボタンを押しながらサルボ ボタンを押して放します。

ロックボタンは、省電力モードを示します。

- 有効な場合は青色
- 無効な場合は消灯

ロックボタンを切り替えて有効または無効にします。

エラー表示

ルーティングスイッチャーに接続されていません

RCP がルーティングスイッチャーに接続できない理由はいくつかあります。これらの状況のいずれかにおいても、RCPは“スクロールLED”状態に入ります。ユニットは、各入力ボタンのLEDを1つずつ点灯させ、次に各出力ボタンのLEDを1つずつ点灯させます。

最後の出力ボタンに到達すると、最初から再び開始されます。RCPは様々な色を使用して、様々なエラー状態を示します。

この状態で、ユーザーはFUNC ボタンを押したままにして設定機能にアクセスできることに注意してください。これが発生すると“スクロール”が停止します。

ユーザーが FUNC ボタンを離すと、“スクロール”が再開されます。

圏外

RCP がネットワーク接続を検出しない場合、LEDは赤色に点灯します。

IP アドレスなし

RCP に有効な IP アドレスがない場合、LED は紫色で点灯します。

これには2つの可能性があります：

1. パネル DHCP用に構成されており、DHCPサーバーからの IP アドレスを受信していません。
2. ユーザーがこのパネルに不正な IP アドレスを入力したか、このフィールドが構成内で破損しています。

Missing Routing Switcher

RCP がすべてのネットワークワーク設定が正しいことを検出し、それでもルーティングスイッチャーに接続できない場合、LEDは緑色に点灯します。

RCP構成エラー

RCPに重大な問題があり、適切に作動できない場合、ロックボタンとFUNCボタンが赤色に点滅します。パネル上の他のすべてのボタンはオフになります。

トラブルシューティング

はじめに

ボタンランプテスト

最初に電源を入れたときに入力 1 ボタンを押し続けると、コントロールパネルはキーボード / ランプ テスト機能に入ります。ボタンが押されていない場合、コントロールパネルは直接ステータスモードになります。

フロントパネルのエラー表示

RCP構成エラー

RCP に重大な問題があり、適切に作動しない場合、ロックボタンとFUNCボタンが赤色に点滅します。パネル上の他のすべてのボタンはオフになります。

注意:

次の推奨アクションを実行しても満足いく動作が得られない場合は、販売代理店にご相談ください。

仕様

メカニカル仕様	
動作温度	0 ~ 45
寸法	RCP-3232 : 89mm x 483mm x 32 mm RCP-1616 : 44.5mm x 483mm x 32 mm
重量	RCP-3232 : 1.2 kg RCP-1616 : 0.7 kg
電気仕様	
AC 入力 範囲	100 ~ 240V、50/60Hz
最大 AC 電力	RCP-3232 : 4.8W RCP-1616 : 3.5W
通信仕様	
イーサネット(1)	10/100 Base-T (RJ45)